

(2) 所属部署と専門職との連携の有無と有益性の認知との関係

所属部署と「専門職との連携の有無と有益性」に関する項目に欠損のない11,652名を解析対象とした。ここでいう専門職とは、個人との連携がイメージされており、例えばボランティア団体の事務局長との連携であったり、住民団体の代表との連携が問われている。

一元配置分散分析をおこなった結果、「福祉」と「保健」群、「保健福祉」群、「介護」群間において、有意な差が観察された。このことから、「福祉」群は「保健」「保健福祉」群よりも、専門職との連携の規模が小さく、有益性の認知得点も低い傾向にあり、「介護」群よりは、専門職との連携の規模が大きく、有益性の認知得点も高いことが示唆された。

専門職との連携においても専門機関との連携と同様に、保健福祉部署の保健師の得点が高く、福祉や介護部署の保健師の得点が低いことが示唆された。

表 40 所属部署と専門職との連携の有無の記述統計量

	度数	平均値	標準偏差	範囲
保健	6373	38.9	12.6	0-68点
保健福祉	3473	39.1	12.4	0-68点
福祉	770	31.5	11.6	0-66点
介護	753	28.2	12.2	0-68点
その他	283	28.3	14.0	0-68点
合計	11652	37.5	12.9	0-68点

表 41 所属部署と専門職との連携の有無の多重比較

		平均値の差	有意確立
保健	保健福祉	-0.206	1.000
	福祉	7.325*	0.000
	介護	10.624*	0.000
	その他	10.610*	0.000
保健福祉	保健	0.206	1.000
	福祉	7.531*	0.000
	介護	10.830*	0.000
	その他	10.816*	0.000
福祉	保健	-7.325*	0.000
	保健福祉	-7.531*	0.000
	介護	3.298*	0.000
	その他	3.284*	0.002
介護	保健	-10.624*	0.000
	保健福祉	-10.830*	0.000
	福祉	-3.298*	0.000
	その他	error	1.000
その他	保健	-10.610*	0.000
	保健福祉	-10.816*	0.000
	福祉	-3.284*	0.002
	介護	error	1.000

従属変数:「専門職との連携の有無と有益性尺度」合計得点

\*:平均の差は0.05以下で有意

(3) 所属部署と連携活動評価尺度の関係

所属部署と連携活動評価尺度に関する項目に欠損のない12,017名を解析対象とした。

一元配置分散分析をおこなった結果、「福祉」群と「保健」群、「保健福祉」群、「介護」群間で有意な差が観察された。

このことから、「福祉」群は「保健」「保健福祉」「介護」群よりも、連携活動評価尺度得点が高い傾向にあることが示唆された。また、「保健」と「介護」群は、「保健福祉」「福祉」よりも、連携活動評価尺度得点が高い傾向にあることが明らかとなった。

表 42 所属部署と連携活動評価尺度の記述統計量

	度数	平均値	標準偏差	範囲
保健	6639	22.0	4.9	0-39点
保健福祉	3568	22.9	5.0	0-42点
福祉	768	24.1	5.3	0-39点
介護	764	22.2	5.7	0-40点
その他	278	22.6	6.2	0-38点
合計	12017	22.5	5.1	0-42点

表 43 所属部署と連携活動評価尺度の多重比較

		平均値の差	有意確立
保健	保健福祉	-0.880*	0.000
	福祉	-2.081*	0.000
	介護	-0.128	1.000
	その他	-0.586	0.591
保健福祉	保健	0.880*	0.000
	福祉	-1.201*	0.000
	介護	0.752*	0.002
	その他	0.294	1.000
福祉	保健	2.081*	0.000
	保健福祉	1.201*	0.000
	介護	1.953*	0.000
	その他	1.495*	0.000
介護	保健	0.128	1.000
	保健福祉	-0.752*	0.002
	福祉	-1.953*	0.000
	その他	-0.458	1.000
その他	保健	0.586	0.591
	保健福祉	-0.294	1.000
	福祉	-1.495*	0.000
	介護	0.458	1.000

従属変数:「連携活動評価尺度」合計得点

\*:平均の差は0.05以下で有意



## 印象に残っている1事例の利用者について

印象に残っている1事例の利用者に関する項目について記述統計をおこなった。

### 1) 性別・年齢

印象に残っている1事例の利用者の性別は、男性の事例が3,770名(28.9%)、女性の事例が8,689名(66.7%)、残りの565名(4.3%)が不明であった。平均年齢は45.6歳(標準偏差24.0、範囲0-102歳)であった。

### 2) 相談内容

調査を行った13,024件の中で、「母子保健」に関する相談が4,273件(32.8%)、「精神保健」に関する相談が3,786件(29.1%)、「老人保健」に関する相談が2,755件(21.2%)と多い傾向にあった。

「感染症」や「難病」、「成人保健」に関する相談内容は少ない傾向にあった(図45)。

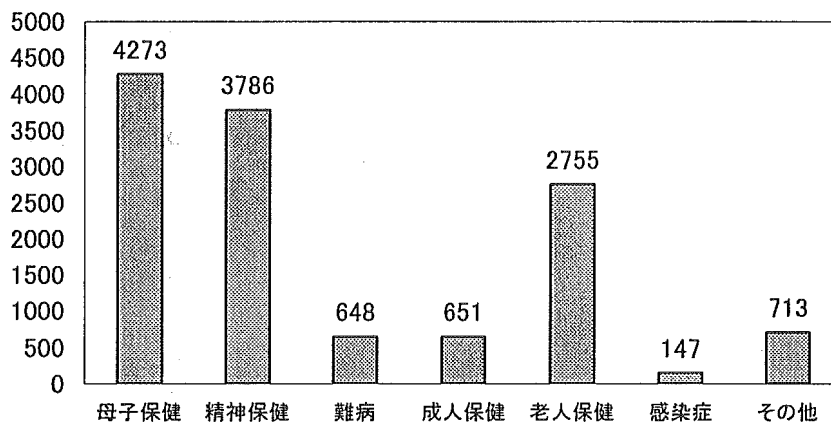


図45 相談内容

### 3) 面接の頻度

面接の頻度は、「月に2~3回」が6,415名(49.3%)と最も多かった(図45)。

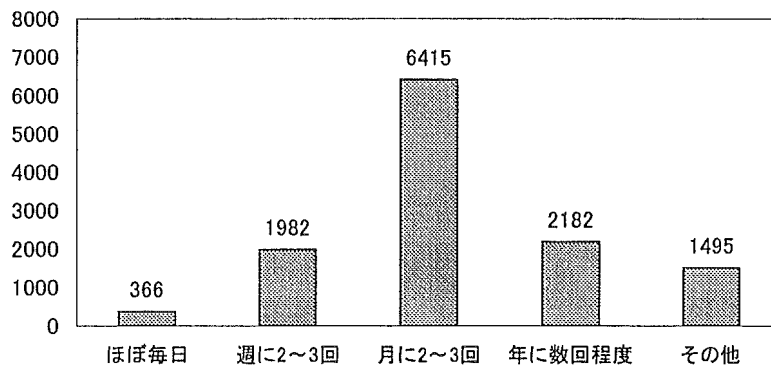


図45 面接の頻度

#### 4) 面接所要時間

面接の所要時間に関する項目について集計をおこなった。調査を行った 13,024 件の中で、最も多かったのは「1日に60分くらい」で1,485名(11.4%)であった。

次に多かったのは、「月に60分くらい」を選択している者で1,033名(7.93%)であった。(表44)。

また、「その時によって全く異なる」を選択している者は4,133名(31.7%)であった。

表 44 面接所要時間

1日に( )分くらい		週に( )分くらい		月に( )分くらい		年に( )分くらい					
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)			
60分	1485	(11.40)	60分	546	(4.19)	60分	1033	(7.93)	60分	82	(0.63)
30分	662	(5.08)	120分	232	(1.78)	120分	582	(4.47)	120分	72	(0.55)
40分	233	(1.79)	30分	184	(1.41)	180分	307	(2.36)	180分	51	(0.39)
120分	226	(1.74)	90分	95	(0.73)	90分	290	(2.23)	240分	41	(0.31)
90分	220	(1.69)	180分	84	(0.64)	30分	276	(2.12)	30分	31	(0.24)
20分	71	(0.55)	40分	66	(0.51)	40分	81	(0.62)	300分	28	(0.21)
10分	46	(0.35)	100分	30	(0.23)	150分	65	(0.50)	360分	27	(0.21)
15分	46	(0.35)	20分	20	(0.15)	100分	64	(0.49)	90分	21	(0.16)
50分	39	(0.30)	240分	19	(0.15)	240分	64	(0.49)	600分	13	(0.10)
45分	29	(0.22)	200分	16	(0.12)	200分	47	(0.36)	40分	12	(0.09)
180分	18	(0.14)	10分	15	(0.12)	20分	42	(0.32)	150分	7	(0.05)
80分	16	(0.12)	50分	15	(0.12)	360分	32	(0.25)	720分	7	(0.05)
100分	15	(0.12)	80分	14	(0.11)	80分	27	(0.21)	100分	6	(0.05)
70分	12	(0.09)	45分	10	(0.08)	10分	21	(0.16)	480分	5	(0.04)
150分	12	(0.09)	15分	9	(0.07)	300分	16	(0.12)	10分	4	(0.03)
5分	8	(0.06)	150分	9	(0.07)	15分	15	(0.12)	200分	4	(0.03)
2分	2	(0.02)	360分	8	(0.06)	50分	15	(0.12)	20分	3	(0.02)
75分	2	(0.02)	300分	5	(0.04)	45分	14	(0.11)	50分	3	(0.02)
200分	2	(0.02)	2分	2	(0.02)	270分	10	(0.08)	400分	3	(0.02)
240分	2	(0.02)	270分	2	(0.02)	70分	6	(0.05)	450分	3	(0.02)
3分	1	(0.01)	3分	1	(0.01)	5分	5	(0.04)	15分	2	(0.02)
6分	1	(0.01)	65分	1	(0.01)	160分	5	(0.04)	80分	2	(0.02)
110分	1	(0.01)	70分	1	(0.01)	140分	4	(0.03)	270分	2	(0.02)
140分	1	(0.01)	400分	1	(0.01)	1分	2	(0.02)	420分	2	(0.02)
300分	1	(0.01)	480分	1	(0.01)	210分	2	(0.02)	840分	2	(0.02)
			720分	1	(0.01)	320分	2	(0.02)	4分	1	(0.01)
						500分	2	(0.02)	8分	1	(0.01)
						720分	2	(0.02)	250分	1	(0.01)
						2分	1	(0.01)	540分	1	(0.01)
						4分	1	(0.01)	900分	1	(0.01)
						190分	1	(0.01)	1080分	1	(0.01)
						230分	1	(0.01)			
						400分	1	(0.01)			



## 事例の取り組みに対する評価

事例の取り組みに対する評価の項目について、今回対象とした事例の結果は、最初と比べて「一部改善した」と評価しているものが最も多く、6,579名（50.5%）と最も多かった。また、「全く改善しなかった」が842名（6.5%）、「あまり変わらなかった」が2,196名（16.9%）であり、改善が見られなかったと評価しているものが、全体の約23%みられた（図46）。

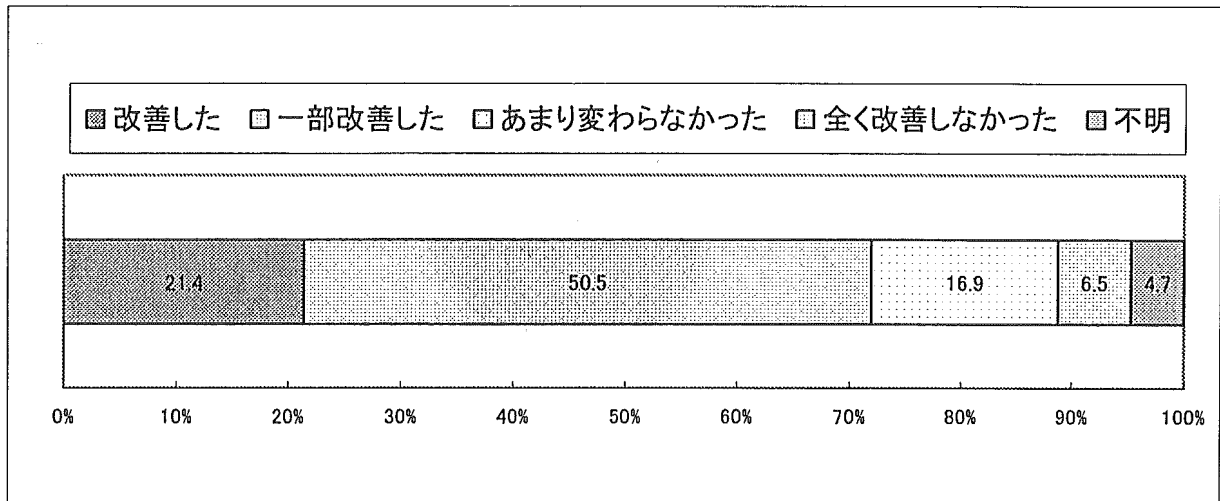


図 46 事例の取り組みに対する評価



## 対応事例について

対応事例について、この事例を扱っている同時期に他の事例も受け持っていたと回答した者は11,111名（85.3%）であった。

また、年間に対応する事例数については、1年間に約117名であった。うまくいった事例は全体の約46.7%という結果であった。

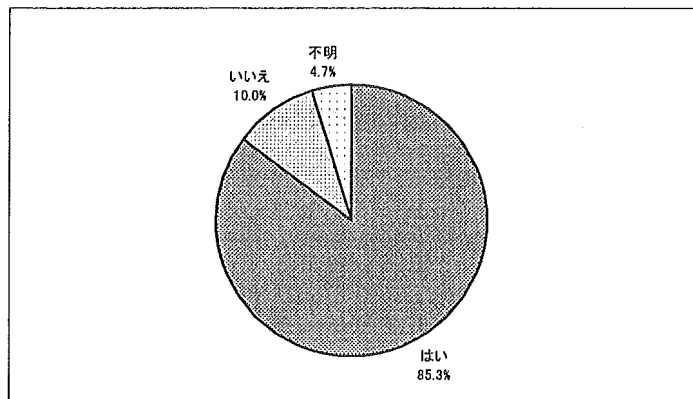


図 47 対応事例について



# 1 事例における連携活動状況

保健師における一般的な連携活動状況に関する項目 15 項目に欠損値のない 11,465 名を対象に記述統計をおこなった。回答分布は表 45、図 48 に示すとおりである。

表 45 連携活動尺度の回答分布 (n=11465)

項目	*回答カテゴリー					
	0	1	2	3	4	5
X1 あなたは、住民・利用者に対して保健事業や援助活動をしたとき、進行状況や結果、関連する他の機関に報告していますか	173 ( 1.5 )	250 ( 2.2 )	7658 ( 66.8 )	3384 ( 29.5 )		
X2 あなたは、住民・利用者が、どんな制度や資源やサービスを利用しているか、把握していますか	30 ( 0.3 )	185 ( 1.6 )	6158 ( 53.7 )	5092 ( 44.4 )		
X3 あなたは、保健事業の実施やサービス提供に必要な知識や情報を、関連する他の機関(住民組織を含む)から集めていますか	92 ( 0.8 )	843 ( 7.4 )	7372 ( 64.3 )	3158 ( 27.5 )		
X4 あなたは、住民の相談内容や問題状況を基礎に関係する他部門や、関連する他の機関に対して必要とされる行政サービスやインフォーマルなサービス、事業、資源・制度、保健・介護および福祉サービスの内容を文書化し、提案していますか	1388 ( 12.1 )	3925 ( 34.2 )	5043 ( 44.0 )	1109 ( 9.7 )		
X5 あなたは、関連する他の機関(住民組織を含む)に協力を要請しますか	350 ( 3.1 )	886 ( 7.7 )	6267 ( 54.7 )	3962 ( 34.6 )		
X6 あなたは、関連する他の機関(住民組織を含む)から協力を要請されますか	629 ( 5.5 )	2469 ( 21.5 )	6857 ( 59.8 )	1510 ( 13.2 )		
X7 あなたは、ご自分と関連する専門職の集まりだけでなく、他の職種・専門職の集まり(会議)にも参加していますか	1711 ( 14.9 )	5647 ( 49.3 )	3559 ( 31.0 )	548 ( 4.8 )		
X8 あなたは、関連する他の機関(住民組織を含む)から、その機関の業務や実施に関する内容を聞いていますか	462 ( 4.0 )	3225 ( 28.1 )	7408 ( 64.6 )	370 ( 3.2 )		
X9 あなたは、関連する他の機関(住民組織を含む)にどのような専門職がいるか、把握していますか	181 ( 1.6 )	1244 ( 10.9 )	8738 ( 76.2 )	1302 ( 11.4 )		
X10 あなたは、事例検討会などの説明会への参加を、同僚に呼び掛けますか	1934 ( 16.9 )	3447 ( 30.1 )	4837 ( 42.2 )	1247 ( 10.9 )		
X11 あなたは、関連する他の機関(住民組織を含む)や他の職種との親睦会に参加しますか	4349 ( 37.9 )	594 ( 5.2 )	1660 ( 14.5 )	62 ( 0.5 )		
X12 あなたの機関では、新規の保健師が就任した場合、関連する他の機関(住民組織を含む)に挨拶回りをしますか	1915 ( 16.7 )	2644 ( 23.1 )	5932 ( 51.7 )	974 ( 8.5 )		
X13 あなたは、複数の関連する他の機関(住民組織を含む)が参加する会議などにおいて、自分の判断で一定の費用を決定していますか	7613 ( 66.4 )	2681 ( 23.4 )	1061 ( 9.3 )	110 ( 1.0 )		
X14 あなたは、自分の業務内容について、関連する他の機関(住民組織を含む)に資料、情報を伝達していますか	932 ( 8.1 )	3196 ( 27.9 )	6965 ( 60.8 )	372 ( 3.2 )		
X15 あなたは、複数の関連する他の機関(住民組織を含む)・専門職で集めた利用者の情報を、管理していますか	876 ( 7.6 )	2649 ( 23.1 )	7117 ( 62.1 )	823 ( 7.2 )		

\*回答カテゴリー

- X1:「0:全く報告しない」「1:あまり報告しない」「2:必要に応じて報告する」「3:いつも報告する」
- X2, X9:「0:全く把握していない」「1:あまり把握していない」「2:ある程度把握している」「3:大変よく把握して」
- X3:「0:全く集めていない」「1:あまり集めていない」「2:だいたい集めている」「3:よく集めている」
- X4:「0:全くしていない」「1:あまりしていない」「2:ある程度している」「3:よくしている」
- X5:「0:全く要請しない」「1:あまり要請しない」「2:よく要請する」「3:大変よく要請する」
- X6:「0:全くされない」「1:あまりされない」「2:よくされる」「3:大変よくされる」
- X7, X11:「0:全く参加しない」「1:あまり参加しない」「2:かなり多くの集まりに参加する」「3:すべて参加する」
- X8:「0:全く聞いてない」「1:あまり聞いてない」「2:よく聞いている」「3:すべて聞いている」
- X10:「0:全く勧めない」「1:あまり勧めない」「2:ある程度勧める」「3:積極的に勧める」
- X12:「0:全く回らない」「1:あまり回らない」「2:回る」「3:いつも回る」
- X13:「0:全くない」「1:あまり持っていない」「2:だいたい持っている」「3:いつもある」
- X14:「0:全くしない」「1:あまり配布していない」「2:だいたい配布している」「3:すべて配布している」
- X15:「0:全く管理していない」「1:あまり管理していない」「2:だいたい管理している」「3:すべて管理している」

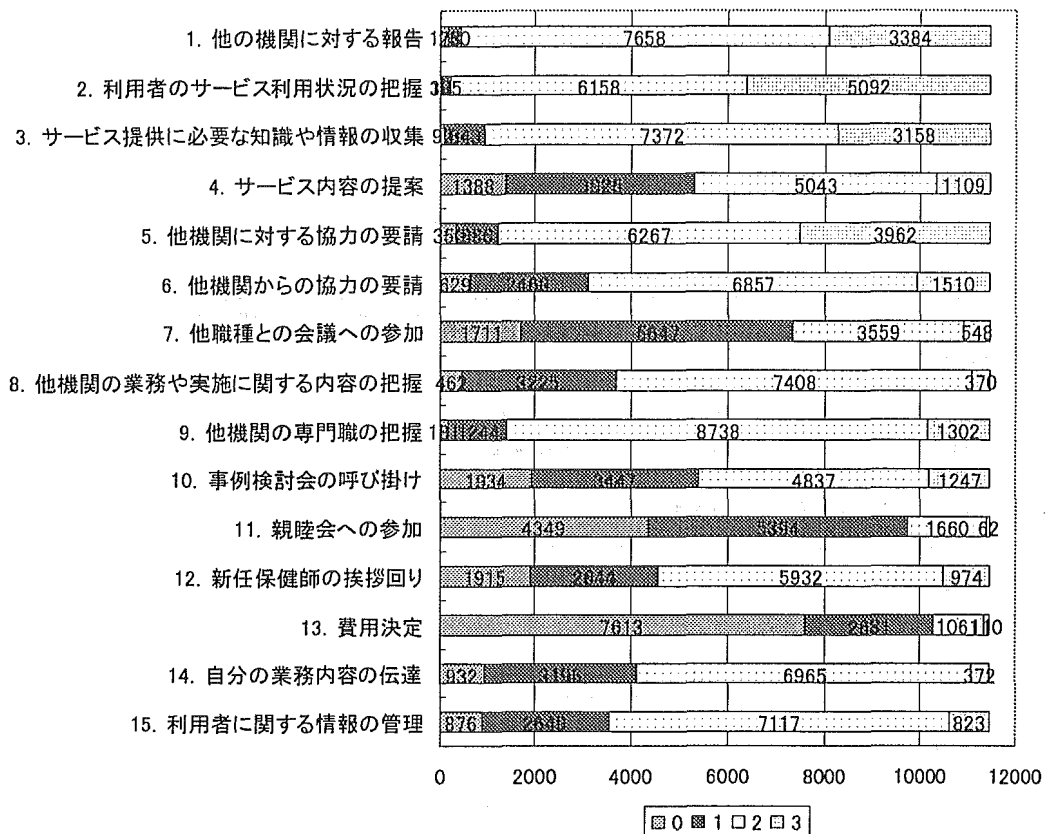


図 48 連携活動尺度回答分布

## 機関との連携の有無と有益性

機関との連携の有無と有益性について欠損値のない9,188名を対象に記述統計をおこなった。回答分布は表 46、図 49 に示すとおりであった。

### (1) 回答分布

「連携していて、とても役に立っている」が最も多かったのは「医療機関」3,072名(33.4%)、次いで「役所内の他の部署・住民組織」2,587名(28.2%)であった。



表 46 機関との連携状況尺度の回答分布 (n=9188)

項目	*回答カテゴリー				
	0	1	2	3	4
X1 保健所・市町村保健センター	2654 ( 28.9 )	418 ( 4.5 )	1848 ( 20.1 )	1849 ( 20.1 )	2419 ( 26.3 )
X2 医療機関(診療所・病院)	1555 ( 16.9 )	258 ( 2.8 )	1864 ( 20.3 )	2439 ( 26.5 )	3072 ( 33.4 )
X3 本庁(県庁、所属自治体中枢機関)	6591 ( 71.7 )	275 ( 3.0 )	1081 ( 11.8 )	698 ( 7.6 )	543 ( 5.9 )
X4 役所内の他の部署・住民組織	2009 ( 21.9 )	202 ( 2.2 )	1998 ( 21.7 )	2392 ( 26.0 )	2587 ( 28.2 )
X5 公民館	8265 ( 90.0 )	129 ( 1.4 )	482 ( 5.2 )	201 ( 2.2 )	111 ( 1.2 )
X6 教育委員会	7976 ( 86.8 )	162 ( 1.8 )	521 ( 5.7 )	318 ( 3.5 )	211 ( 2.3 )
X7 保育所・幼稚園	6623 ( 72.1 )	102 ( 1.1 )	586 ( 6.4 )	754 ( 8.2 )	1123 ( 12.2 )
X8 学校(小・中・高・大)	7817 ( 85.1 )	119 ( 1.3 )	484 ( 5.3 )	388 ( 4.2 )	380 ( 4.1 )
X9 児童相談所	6316 ( 68.7 )	223 ( 2.4 )	690 ( 7.5 )	794 ( 8.6 )	1165 ( 12.7 )
X10 福祉事務所	4887 ( 53.2 )	207 ( 2.3 )	1088 ( 11.8 )	1317 ( 14.3 )	1689 ( 18.4 )
X11 社会福祉協議会	5669 ( 61.7 )	206 ( 2.2 )	1014 ( 11.0 )	1068 ( 11.6 )	1231 ( 13.4 )
X12 知的障害者福祉施設	8313 ( 90.5 )	89 ( 1.0 )	297 ( 3.2 )	235 ( 2.6 )	254 ( 2.8 )
X13 警察署・消防署	7126 ( 77.6 )	187 ( 2.0 )	816 ( 8.9 )	594 ( 6.5 )	465 ( 5.1 )
X14 検査機関	8705 ( 94.7 )	64 ( 0.7 )	221 ( 2.4 )	101 ( 1.1 )	97 ( 1.1 )
X15 訪問看護ステーション	7431 ( 80.9 )	91 ( 1.0 )	441 ( 4.8 )	440 ( 4.8 )	785 ( 8.5 )
X16 精神保健福祉センター	8001 ( 87.1 )	135 ( 1.5 )	458 ( 5.0 )	300 ( 3.3 )	294 ( 3.2 )
X17 精神障害者社会復帰施設	8326 ( 90.6 )	106 ( 1.2 )	302 ( 3.3 )	208 ( 2.3 )	246 ( 2.7 )
X18 在宅介護支援センター	6416 ( 69.8 )	101 ( 1.1 )	584 ( 6.4 )	764 ( 8.3 )	1323 ( 14.4 )
X19 居宅介護支援事業所	6849 ( 74.5 )	77 ( 0.8 )	474 ( 5.2 )	579 ( 6.3 )	1209 ( 13.2 )
X20 訪問介護事業所	7104 ( 77.3 )	73 ( 0.8 )	443 ( 4.8 )	542 ( 5.9 )	1026 ( 11.2 )
X21 介護老人保健施設・介護老人福祉施設	7694 ( 83.7 )	103 ( 1.1 )	410 ( 4.5 )	396 ( 4.3 )	585 ( 6.4 )
X22 労働基準監督署	9016 ( 98.1 )	57 ( 0.6 )	78 ( 0.8 )	18 ( 0.2 )	19 ( 0.2 )
X23 薬局	8718 ( 94.9 )	60 ( 0.7 )	217 ( 2.4 )	121 ( 1.3 )	72 ( 0.8 )
X24 企業	8975 ( 97.7 )	57 ( 0.6 )	81 ( 0.9 )	40 ( 0.4 )	35 ( 0.4 )
X25 マスコミ	9031 ( 98.3 )	41 ( 0.4 )	79 ( 0.9 )	19 ( 0.2 )	18 ( 0.2 )

\*回答カテゴリー

「0:連携していない」「1:連携しているが、全く役に立たない」「2:連携していて、いくぶん役に立っている」

「3:連携していて、ほぼ役に立っている」「4:連携していて、とても役に立っている」

連携していない       連携しているが、全く役に立たない       連携していて、いくぶん役に立っている  
 連携していて、ほぼ役に立っている       連携していて、とても役に立っている

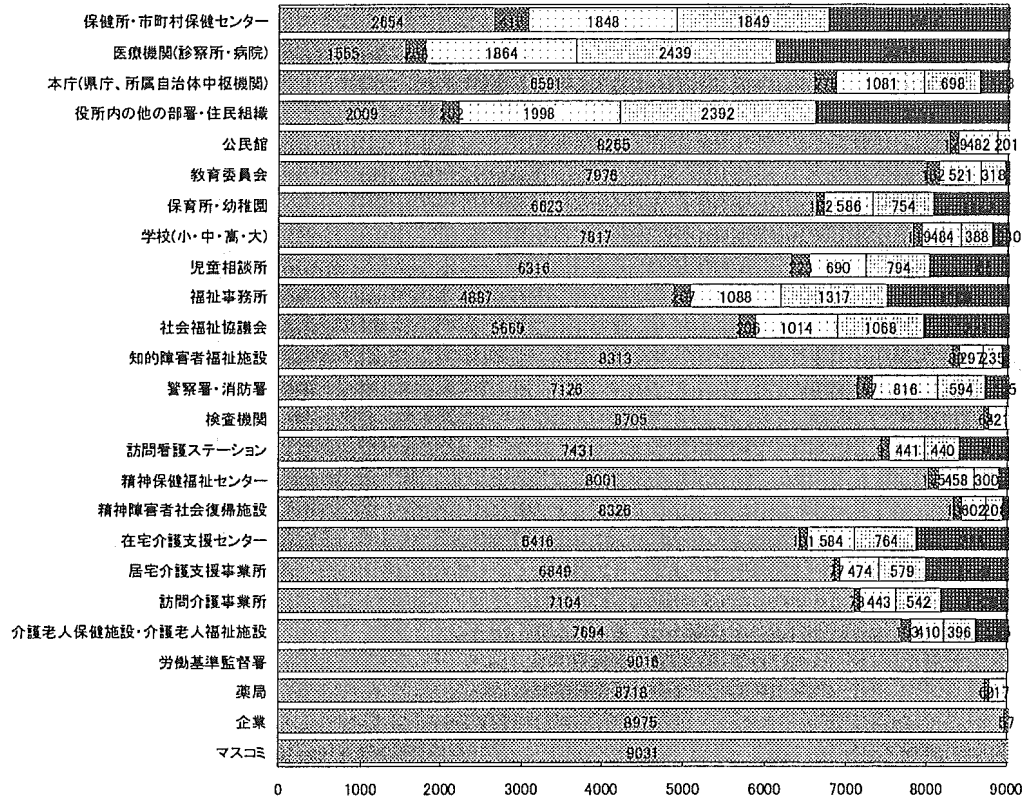


図 49 機関との連携の有無と有益性に関する項目の回答分布

(2) 連携先との交流

欠損値のない 12,220 名に対して記述統計を行った。その結果、回答「時々交流していた」が 6,201 人(50.7%)と最も多かった。「全く初めてだった」が 719 人 (5.9%)と少なかった(図 50)。

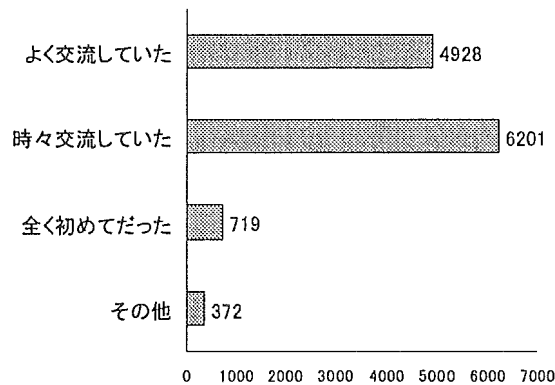


図 50 連携先との交流



## 事例におけるトラブル

「今回の事例では、何か問題やトラブルなどは発生しましたか」という問いに対し「はい」と回答した者は5,174名、「いいえ」と回答した者は7,206名であった。「はい」と回答した者のうち、その問題やトラブルへの対処時期と対応方法に関する質問に欠損値のない4,840名を対象に記述統計をおこなったところ、「問題などの発生前に他機関と連携し始めた」と回答した者が1,954名(40.4%)と多かった(図 51)。

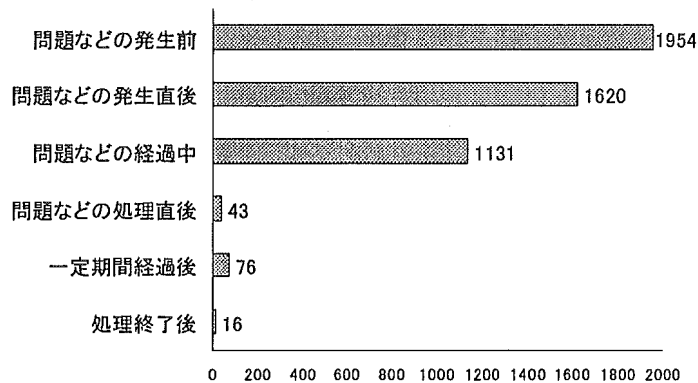


図 51 事例におけるトラブル

そのトラブルに対して、「直接関与」というかたちで関わったと回答した者が2,840名(58.7%)と多かった(図 52)。

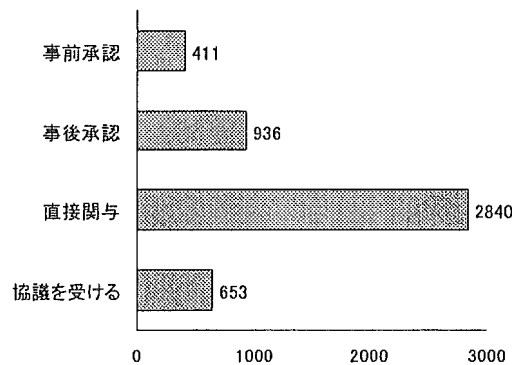


図 52 トラブルへの対応

調査1と調査2に共通して含まれている「機関との連携の有無と有益性」に関する項目と「連携活動評価尺度」の回答分布と得点分布において比較検討をおこなった。

「機関との連携の有無と有益性」「連携活動評価尺度」についての回答分布をみると、一般的なことを想定した場合と、印象に残った事例に関するものでは、回答の傾向に違いがみられた（図 53～図 56）。得点分布に着目すると、調査1の結果では、得点が広範囲に分布しているのに対し、調査2の結果では、調査1の結果に比べて低い得点に分布している傾向がみられた（図 57・図 58）。

表 47 調査1と調査2の比較

	調査1	調査2
	回答分布(n=9776)	回答分布(n=9188)
機関との連携の有無と有益性尺度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「連携していてとても役に立っている」 保健所・市町村保健センター(27.6%)</li> <li>在宅介護支援センター(27.0%)</li> <li>⋮</li> <li>・「連携していない」 労働基準監督署(94.5%)</li> <li>企業(86.2%)</li> <li>⋮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「連携していてとても役に立っている」 医療機関(33.4%)</li> <li>役所内の他の部署・住民組織(28.2%)</li> <li>⋮</li> <li>・「連携していない」 マスコミ(98.3%)</li> <li>労働基準監督署(98.1%)</li> <li>⋮</li> </ul>
	23項目の合計得点の平均値	23項目の合計得点の平均値
	平均値36.0点(標準偏差13.85、範囲0-92点)	平均値17.6点(標準偏差9.95、範囲0-88点)
連携活動評価尺度	回答分布(n=12192)	回答分布(n=11465)
	平均値22.5点(標準偏差5.11、範囲0-42点)	平均値24.7点(標準偏差5.95、範囲0-45点)

連携していない       連携しているが、全く役に立たない       連携していて、いくぶん役に立っている  
 連携していて、ほぼ役に立っている       連携していて、とても役に立っている

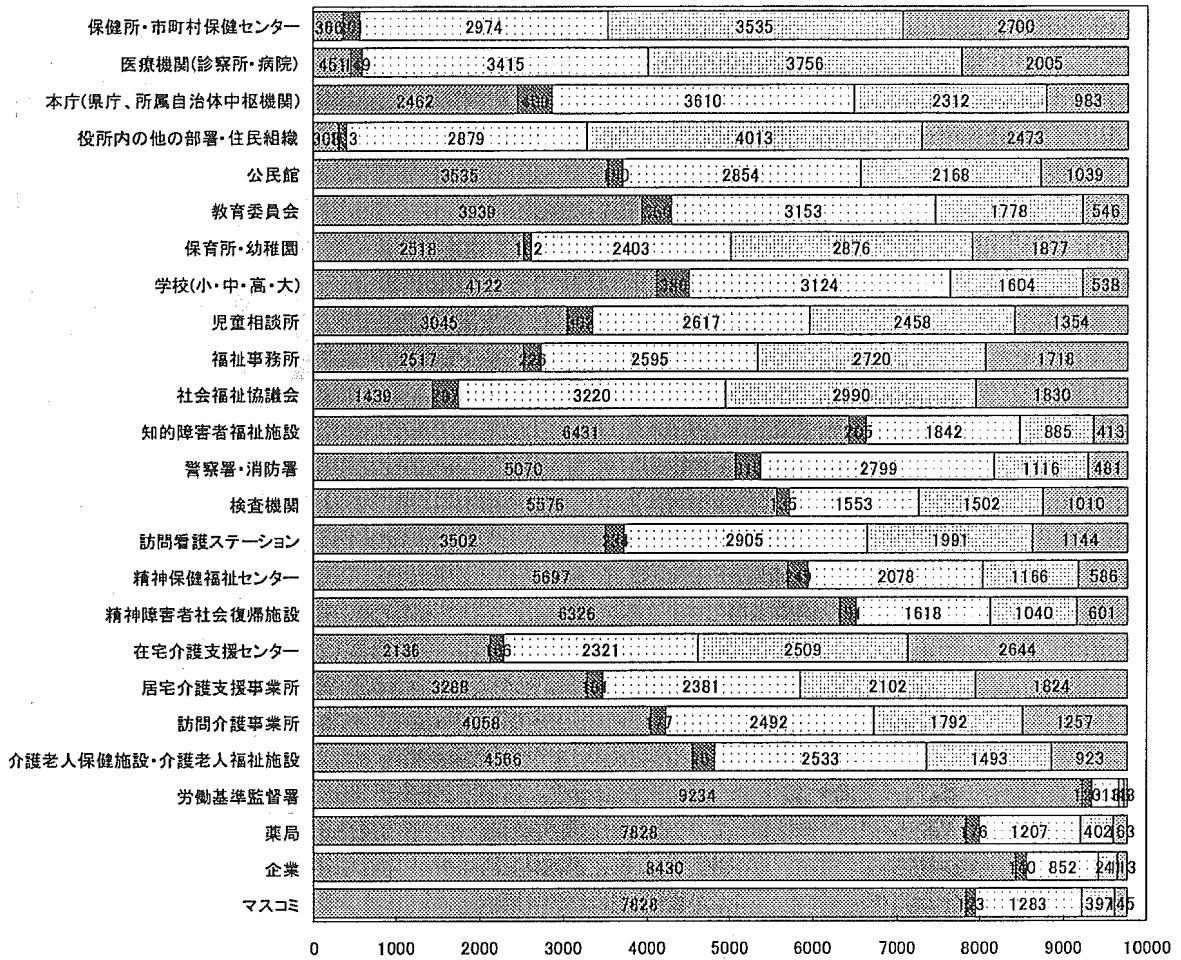


図 53 「機関との連携の有無と有用性」回答分布 (調査1)

連携していない       連携しているが、全く役に立たない       連携していて、いくぶん役に立っている  
 連携していて、ほぼ役に立っている       連携していて、とても役に立っている

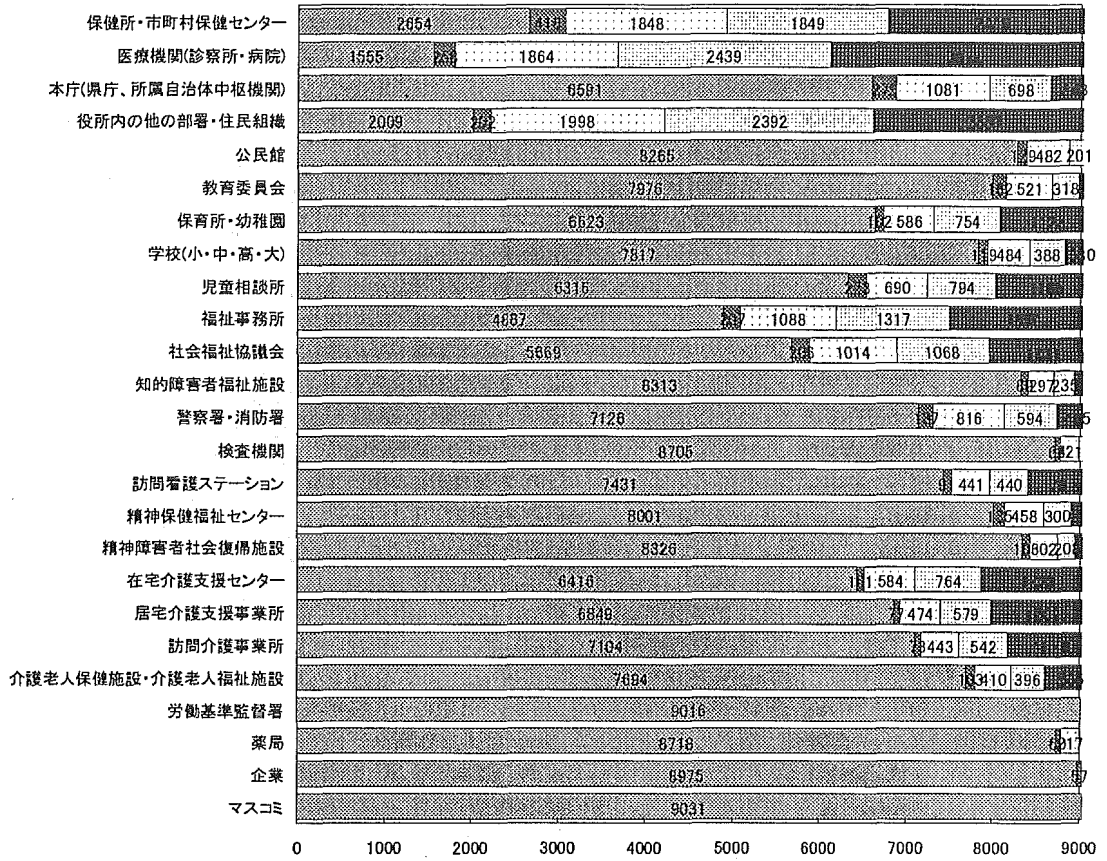


図 54 「機関との連携の有無と有用性」回答分布 (調査 2)

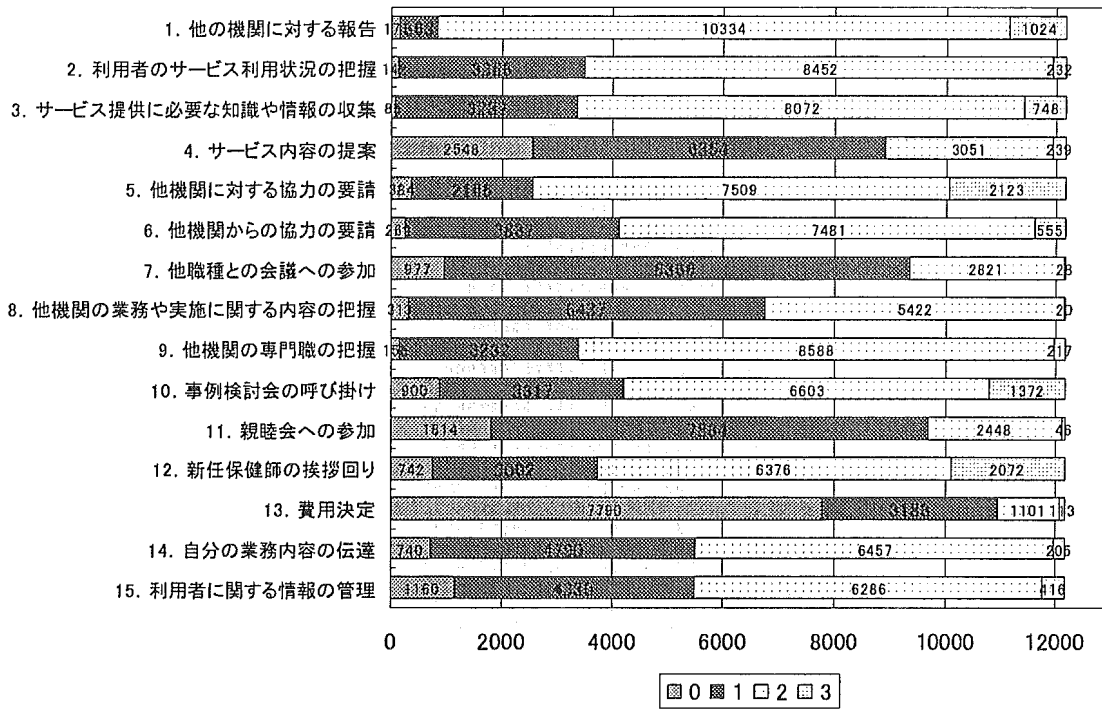


図 55 連携活動評価尺度回答分布 (調査 1)

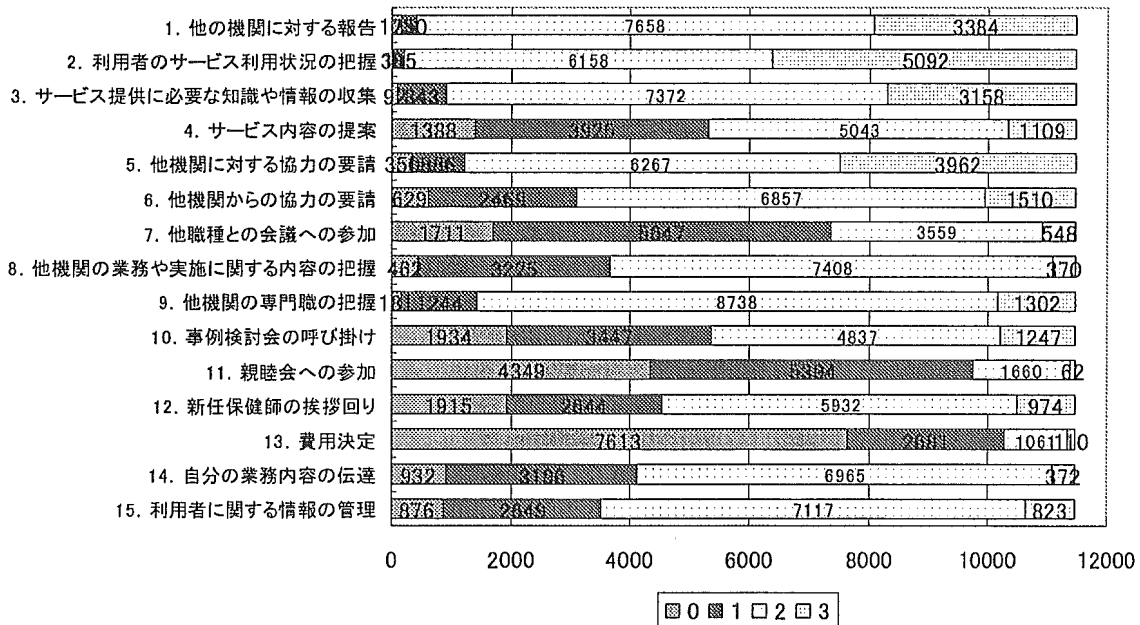


図 56 連携活動評価尺度回答分布 (調査 2)

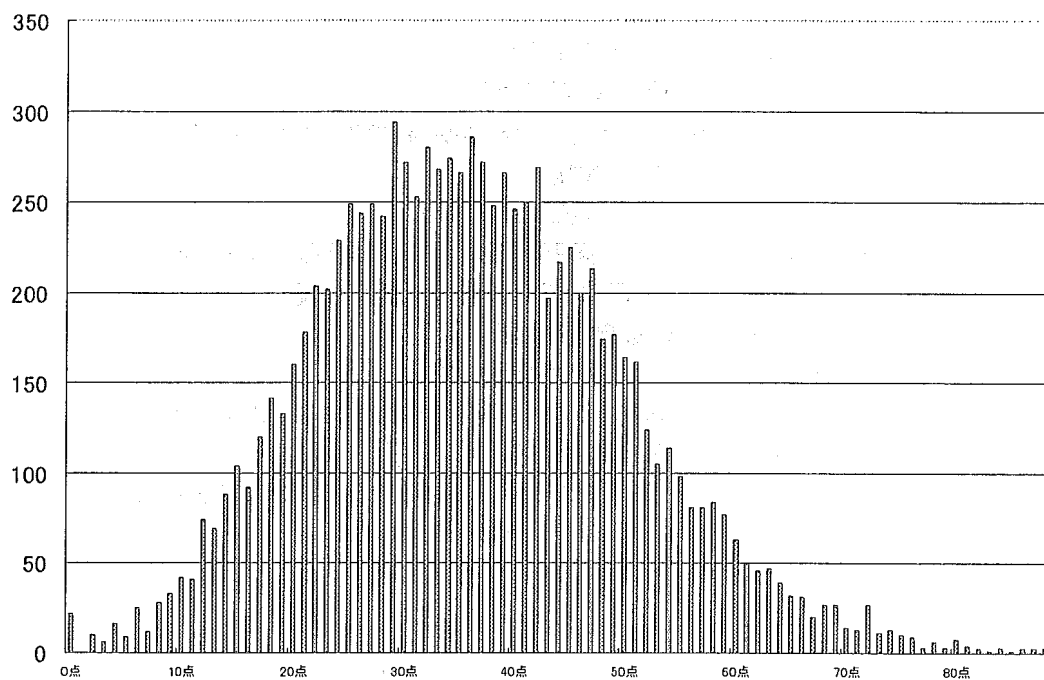


図 57 「機関と連携の有無と有用性尺度」得点分布 (調査1)

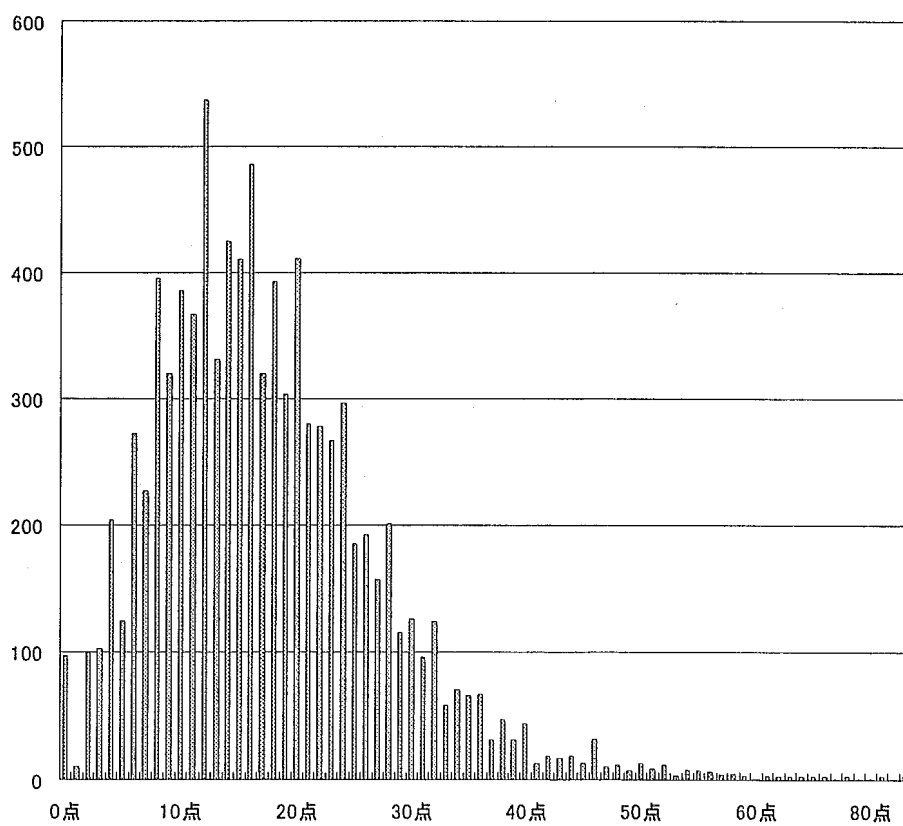


図 58 「機関との連携の有無と有用性尺度」得点分布 (調査2)



「連携活動評価尺度」については、調査1と調査2において、平均値にも大きな違いは観察されず、ほぼ同じような分布をしていた（図59・図60）。

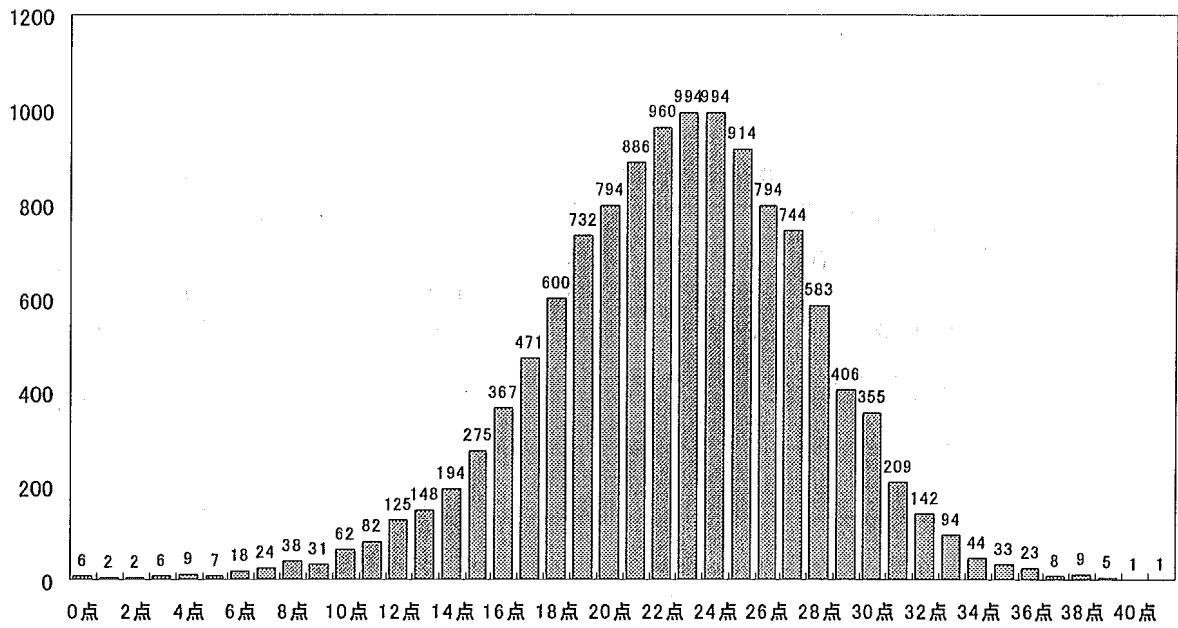


図59 「連携活動評価尺度」得点分布（調査1）

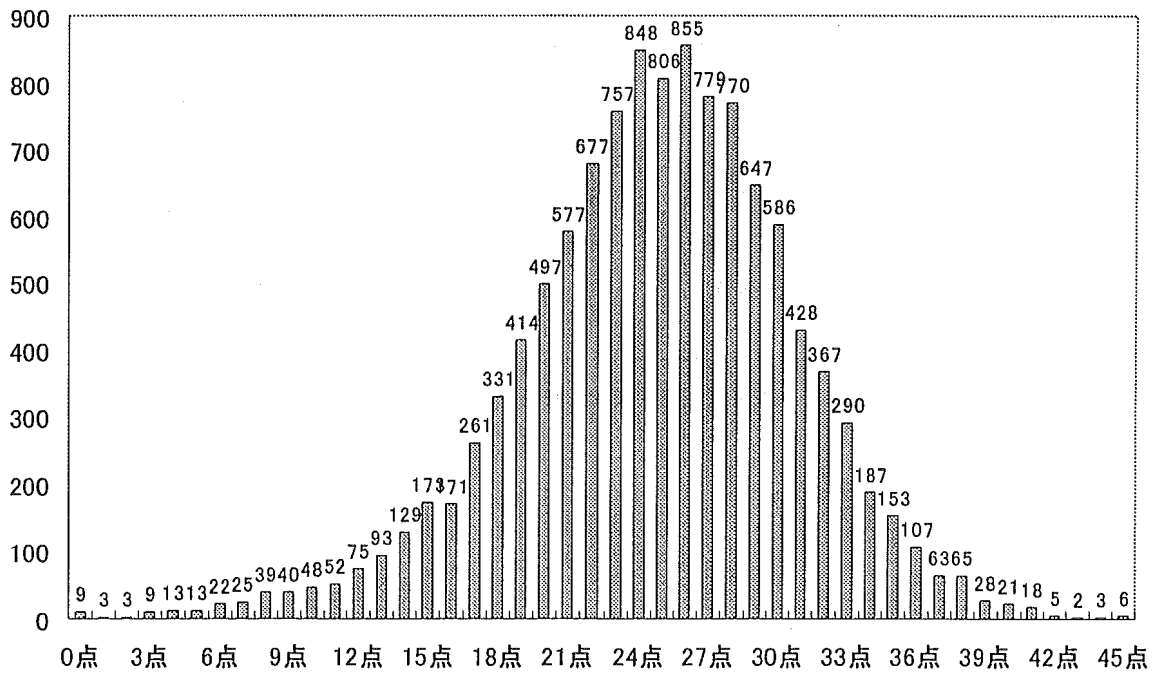


図60 「連携活動評価尺度」得点分布（調査2）

1. 調査1と調査2における都市規模別(政令、中核、その他の市町村)の比較

(1) 都市規模と「機関との連携の有無と有益性」尺度得点の関係

「機関との連携の有無と有益性」尺度得点について、一般的な事例とこれまでに印象に残った1事例の得点の比較を都市規模別(政令、中核、その他の市町村)に行なったところ、どの都市規模においても、一般的な事例よりこれまでに印象に残った1事例の得点の方が低い得点となっていた。

表 48 都市規模と「機関との連携の有無と有益性」尺度得点(調査1と調査2の比較)

都市区分1		平均値	標準偏差	最小値	最大値	N
政令指定都市	調査1	39.6	15.41	4	85	578
	調査2	19.9	10.90	0	80	520
中核都市	調査1	36.5	15.45	0	96	1095
	調査2	18.7	10.39	0	69	988
その他の市町村	調査1	38.7	15.06	0	100	7104
	調査2	18.3	10.73	0	96	6779
合計	調査1	38.5	15.15	0	100	8777
	調査2	18.4	10.71	0	96	8287

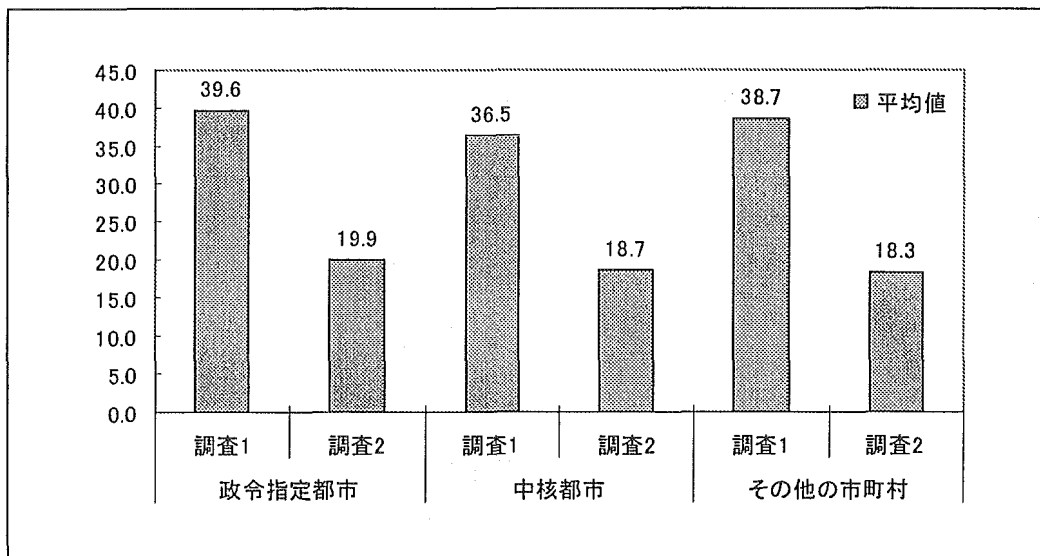


図 61 都市規模と「機関との連携の有無と有益性」尺度得点(調査1と調査2の比較)

(2) 都市規模別連携活動評価尺度得点の関係

「連携活動評価尺度」尺度得点について、一般的な事例とこれまでに印象に残った1事例の得点の比較を都市規模別（政令、中核、その他の市町村）に行なったところ、「機関との連携の有無と有益性」尺度得点の結果とは異なり、どの都市規模においても、一般的な事例よりこれまでに印象に残った1事例の得点の方が高い得点となっていた。

表 49 都市規模別連携活動評価尺度得点(調査1と調査2の比較)

都市区分1		平均値	標準偏差	最小値	最大値	N
政令指定都市	調査1	23.2	4.94	4	38	756
	調査2	25.9	5.55	0	45	712
中核都市	調査1	22.2	5.14	0	39	1493
	調査2	24.8	6.17	0	42	1419
その他の市町村	調査1	22.4	5.13	0	42	8658
	調査2	24.6	5.98	0	46	8133
合計	調査1	22.4	5.12	0	42	10907
	調査2	24.7	5.99	0	46	10264

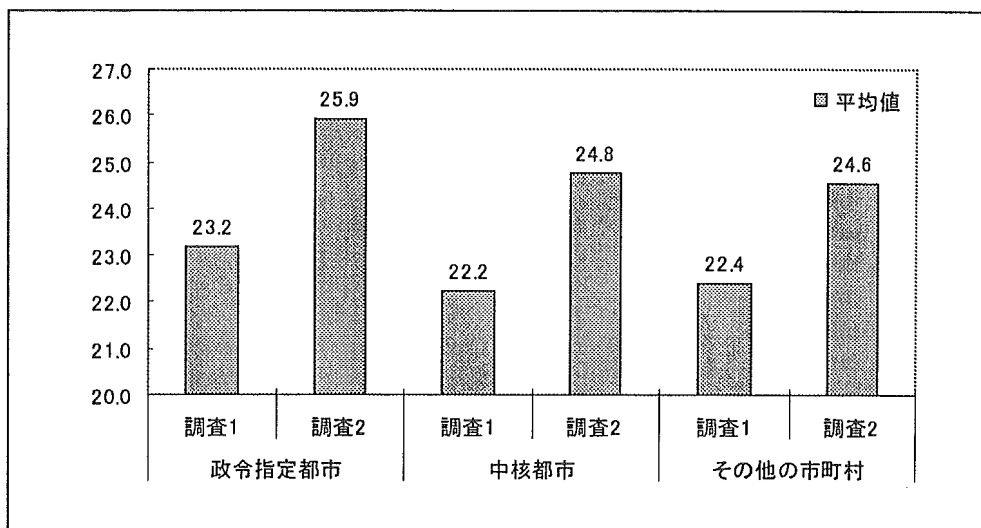


図 62 都市規模別連携活動評価尺度得点の関係(調査1と調査2の比較)

2. 調査1と調査2における都市規模別2（市区町村）の比較

(1) 市区町村と「機関との連携の有無と有益性」尺度得点の関係

「機関との連携の有無と有益性」尺度得点について、一般的な事例とこれまでに印象に残った1事例の得点の比較を都市規模別（市区町村）に行なったところ、どの都市規模においても、一般的な事例よりこれまでに印象に残った1事例の得点の方が低い得点となっていた。

表 50 調査1と調査2における都市規模別2（市区町村）の比較

都市区分2		平均値	標準偏差	最小値	最大値	N
市	調査1	37.5	15.40	0	100	5864
	調査2	18.5	10.61	0	92	5401
町	調査1	40.5	14.32	0	100	2803
	調査2	18.1	10.66	0	96	2710
村	調査1	43.0	15.16	8	86	369
	調査2	19.3	11.59	0	96	363
区	調査1	38.9	15.05	0	91	509
	調査2	20.1	10.87	0	75	503
合計	調査1	38.6	15.15	0	100	9545
	調査2	18.5	10.69	0	96	8977

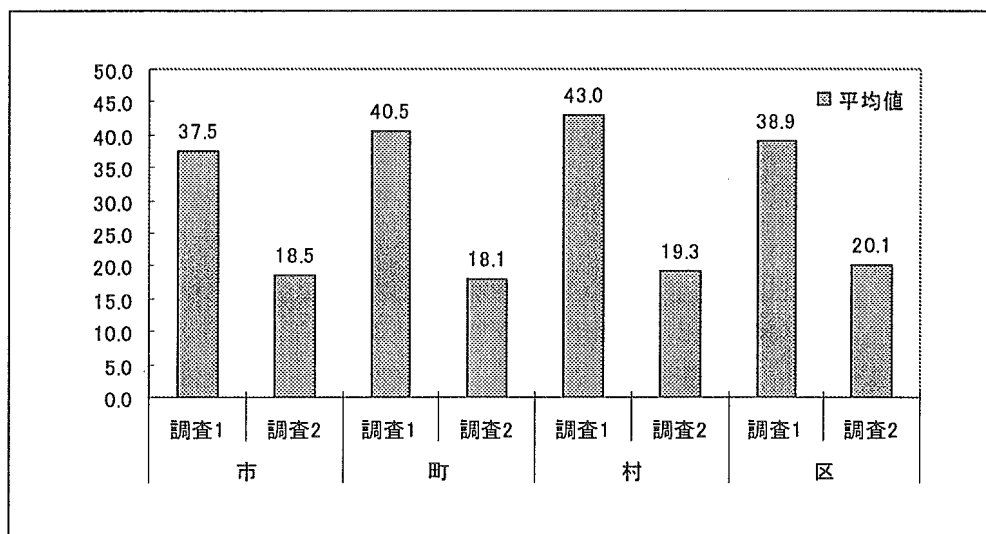


図 63 調査1と調査2における都市規模別2（市区町村）の比較